



あたたかいこころ

令和3年 9月24日 No.4

学校教育目標： 強く明るい生徒 進んで考え実行する生徒 協力する生徒

保護者・地域の皆様・教職員が一丸となって、生徒の幸せな時間づくりを応援します！



本格的に2学期がスタートしました

21日から通常登校が再開となりました。

昇降口での消毒、校内でのソーシャルディスタンス等、友人と久しぶりに顔を合わせ気持ちも高まっている中、生徒の皆さん一人一人の「命」、「安全」を守るための行動、感謝しています。

コロナウイルスに負けずに、安心・安全な学校生活が送れるようチーム南犬飼全員で心を1つに頑張っていきましょう。

さて、いよいよ2学期。各学年ともにとっても大切な4ヶ月を迎えます。

3年生は多くの生徒が部活動を引退し、受験モードに切り替わります。1時間、1時間の授業を大切にすることはもちろん隙間の時間を有意義に使ってください。将来や受験への不安は誰も持っています。1人で溜めこまず、悩みがあるときには、先生、保護者、友人に相談しましょう。

2年生は部活動で中心となるだけでなく、南犬飼中の柱としての行動を期待しています。

最上級生になる準備、心構えを少しずつ進めましょう

1年生は中学校の生活にも慣れ、余裕をもって生活できるようになります。だからこそ、この2学期は学習と部活動の両立を目指すチャンスです。規則正しい生活リズムを身につけましょう。



「心」つなげるあいさつを目指して！

朝、昇降口に立っていると多くの生徒が元気に「おはようございます」とあいさつをしてくれます。その度に今日も1日頑張ろうと思うことができます。4月に比べてあいさつのできる生徒が増えてきました。

なぜ、「あいさつ」をするのでしょうか？いろいろな考え方があると思いますが、今回は「挨拶」という漢字の意味から考えてみました。



これを踏まえて考えると、自分の心を積極的に開き、人の心に迫るものが「挨拶」だと言えそうです。礼儀の一つであることはもちろんですが、自分から進んであいさつをして、相手の心に迫り、より良い人間関係を築いていくことは、結果として自分自身の人生をより豊かにすることにつながります。

たった数秒の言葉だけれど、その一言で相手への「思いやり」や「感謝」が伝わる。自分と相手の「心」を通わす第一歩として挨拶をしていきましょう。

「一秒の言葉」 小泉吉宏	「はじめまして」	この一秒ほどの短い言葉に一生のときめきを感じることもある	「ありがとう」この一秒ほどの短い言葉に人の優しさを知ることがある	「がんばって」この一秒ほどの短い言葉で勇気がよみがえってくることもある	「おめでとう」この一秒ほどの短い言葉でしあわせにあふれることがある	「ごめんなさい」この一秒ほどの短い言葉に人の弱さを見ることがある	「さようなら」この一秒ほどの短い言葉が一生の別れになる時がある	一秒に喜び 一秒に泣く 一生懸命 一秒
-----------------	----------	------------------------------	----------------------------------	-------------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------	---------------------------------	---------------------

